

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	2歳児健康診査歯科診察受診率 (%)						
2	乳幼児健診事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・2歳児健診の実施	1・達成済	指標(単位)	2歳児健康診査歯科診察受診率 (%)						引き続き、歯科保健の重要性を啓発し、受診を促していく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			目標	100	100	100	100	100		
					実績	94.7	99.5	100				
					【評価の理由】 2歳児健康診査参加者に対し歯科診察を全員が受診したため、受診率は目標値に達した。							
3	乳幼児健診事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・3歳児健診の実施	1・達成済	指標(単位)	3歳児健康診査歯科診察受診率 (%)						引き続き、歯科保健の重要性を啓発し、受診を促していく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			目標	100	100	100	100	100		
					実績	93.4	99.7	100				
					【評価の理由】 3歳児健康診査参加者に対し、歯科診察を全員に受診してもらうことができたため、受診率は目標値に達した。							
4	乳幼児健診事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・3歳児健診の実施	1・達成済	指標(単位)	3歳児の1人平均むし歯数 (本)						目標を達成しているものの、個人差が大きいため、引き続きフッ素塗布、歯科保健指導などの予防啓発に力を入れていく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			目標	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
					実績	0.68	0.55	0.44				
					【評価の理由】 月齢ごとの歯科保健指導の充実に努めており、目標を達成することができた。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	3歳児健診歯科診察受診者のむし歯のない子の割合 (%)					
5	乳幼児健診事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・3歳児健診の実施	1・達成済	指標(単位)	3歳児健診歯科診察受診者のむし歯のない子の割合 (%)					引き続きフッ素塗布、歯科保健指導などの予防啓発に力を入れ、むし歯のない子を増やす。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)			
目標	82.3	83.0	84.0	85.0	86.0						
実績	81.8	82.9	86.5								
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			【評価の理由】 歯科保健指導の充実に努めており、目標を達成することができた。						
6	乳幼児健診事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・3歳児健診の実施	2・概ね順調	指標(単位)	3歳児健診参加者のうち、毎日仕上げみがきをする保護者の割合 (%)					引き続き仕上げみがきの必要性など家庭でのむし歯予防に対する取組を促すことにより、むし歯予防に努めていく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)			
目標	100	100	100	100	100						
実績	97	96	96								
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			【評価の理由】 仕上げみがきの必要性について繰り返し啓発した結果、目標を概ね達成することができた。						
7	親子歯科保健推進事業	【目的】 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図る。	・3歳児健診の実施	1・達成済	指標(単位)	3歳児健診歯科診察受診者のむし歯のない子の割合 【再掲】 (%)					引き続きフッ素塗布、歯科保健指導などの予防啓発に力を入れ、むし歯のない子を増やす。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)			
目標	82.3	83.0	84.0	85.0	86.0						
実績	81.8	82.9	86.5								
	健康づくり推進課	【概要】 問診、計測、診察(内科・歯科)、相談(保健・心理)、指導(歯科・栄養)を行う。			【評価の理由】 月齢ごとの歯科保健指導の充実に努めており、目標を達成することができた。						

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	フッ素塗布事業の参加者数 (人)					
8	親子歯科保健 推進事業	【目的】 親と子の自主的な健康づくりを推進 するため、親と子がむし歯、歯並び 及び歯周疾患について正しい知識を 習得する機会を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯LOW教室（フッ素 塗布、唾液テスト、歯み がき指導、親子歯科健 診） ・フッ素塗布（フッ素塗 布、歯みがき指導、歯科 相談、健康教育、エプロ ンシアター） 	3 ・やや遅れている	指標(単位)	フッ素塗布事業の参加者数 (人)					公立幼稚園の3年保育化に 伴い、参加者数が減って いる。幼稚園児も参加し やすいよう、お迎え後 フッ素に参加できる受付 時間を設定し、実施す る。 また、ホットメール等 SNSにて積極的に周知し ていく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	健康づくり推 進課	【概要】 2歳児から就学前の幼児のフッ素塗 布によるむし歯予防・親と子の歯科 健診・健康教育を実施する。			目標	840	840	840	840	840	
					実績	744	604	577			
					【評価の理由】 フッ素塗布事業参加者数の目標値は達成できなかったが、3歳児健診歯科 診察受診者のむし歯のない子の割合は概ね目標達成できている。現在の集 団で行う方法が安価であり、ブラッシングや歯の健康についての動機付け が容易にできる。フッ素塗布事業終了後、食生活改善推進員によるエプロ ンシアターの実施や育児支援があり、市民と協働で参加しやすい工夫がで きている。						
9	幼稚園・小学 校・中学校健 康推進事業	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及 び教職員の健康管理をすることで、 教育環境の充実を図る。	・歯科検診の実施（早期 発見と早期治療勧告）	1 ・達成済	指標(単位)	就学児健康診断歯科検診受診率 (%)					検診結果を受けて、う歯 等の治療につなげていく ことが課題である。家庭 との連携を密にし、早期 治療の呼びかけを継続し て行いたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康 診断（内科検診、歯科検診、尿検 査、心電図検査、脊柱側彎症検査、 結核検診精密検査）を実施する。			目標	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100			
					【評価の理由】 健康に小学校生活を送ることができるよう、あらかじめ口腔内の状態を把 握するため、学校保健安全法に基づき実施した。次年度に就学する対象 者人全員が受診した。						

3 学齢期

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	学校健康診断歯科検診（定期検診）受診率 (%)					
1	幼稚園・小学 校・中学校健 康推進事業	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及 び教職員の健康管理をすることで、 教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期歯科検診及び臨時 歯科検診の実施（早期発 見と早期治療勧告）。 ・小学1年生、2年生を 対象にフッ素塗布を実 施。 ・歯科衛生士、学校歯科 医等による歯みがき指導 の実施。 	1 ・達成済	指標(単位)	学校健康診断歯科検診（定期検診）受診率 (%)					検診結果を受けて、う歯 等の治療につなげていく ことが課題である。家庭 との連携を密にし、早期 治療の呼びかけを継続し て行いたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康 診断（内科検診、歯科検診、尿検 査、心電図検査、脊柱側彎症検査、 結核検診精密検査）を実施する。			目標	100	100	100	100	100	
					実績	97.5	96.2	100			
					【評価の理由】 検診を通じて歯や口の健康状態を把握し、家庭と連携しながら健康の保持 増進を図った。						

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	12歳児の1人平均むし歯数(本) (%)						
2	幼稚園・小学校・中学校健康推進事業	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 定期歯科検診及び臨時歯科検診の実施(早期発見と早期治療勧告)。 小学1年生、2年生を対象にフッ素塗布を実施。 歯科衛生士、学校歯科医等による歯みがき指導の実施。 	1・達成済	指標(単位)	12歳児の1人平均むし歯数(本) (%)						むし歯の本数には個人差が見られる。家庭との連携を密にし、早期治療の呼びかけを継続して行いたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。			目標	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
					実績	0.61	0.55	0.45				
					【評価の理由】 目標を達成しているが、むし歯をなくせるよう、引き続き予防啓発に力をいれていく。 ※市立各小学校6年生児童の平均DMFから算出							
3	幼稚園・小学校・中学校健康推進事業	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 定期歯科検診及び臨時歯科検診の実施(早期発見と早期治療勧告)。 小学1年生、2年生を対象にフッ素塗布を実施。 歯科衛生士、学校歯科医等による歯みがき指導の実施。 	1・達成済	指標(単位)	12歳児のむし歯のない者の割合 (%)						むし歯の本数には個人差が見られる。家庭との連携を密にし、早期治療の呼びかけを継続して行いたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。			目標	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0		
					実績	70.3	68.6	76.0				
					【評価の理由】 計画目標値を達成できたが、学校により差が生じている。個々に応じた指導を徹底したい。 ※健全歯の6年生児童÷在籍数=727÷956で算出							
4	幼稚園・小学校・中学校健康推進事業	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 定期歯科検診及び臨時歯科検診の実施(早期発見と早期治療勧告)。 小学1年生、2年生を対象にフッ素塗布を実施。 歯科衛生士、学校歯科医等による歯みがき指導の実施。 	2・概ね順調	指標(単位)	フッ素塗布を受ける子どもの割合 (%)						市立各小学校においては、年間2回フッ素塗布を計画し、う歯予防につなげていきたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。			目標	100	100	100	100	100		
					実績	99.1	98.1	98.3				
					【評価の理由】 対象者3,672人のうち、3,609人がフッ素塗布を行った。フッ素塗布の実施により歯質の強化が図れ、むし歯予防につながった。							

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	幼稚園・保育所・小・中学校・歯科保健指導参加率 (%)						
5	幼稚園・小学校・中学校健康推進事業 (再掲)	【目的】 学校保健安全法に基づき児童生徒及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	・定期歯科検診及び臨時歯科検診の実施(早期発見と早期治療勧告)。 ・小学1年生、2年生を対象にフッ素塗布を実施。 ・歯科衛生士、学校歯科医等による歯みがき指導の実施。	1・達成済	指標(単位)	幼稚園・保育所・小・中学校・歯科保健指導参加率 (%)						学校における保健指導だけでなく、歯科衛生士、学校歯科医等による歯みがき指導の実施等も計画しう歯予防につなげていきたい。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
目標	100	100	100	100	100							
実績	100	100	100									
	保育幼稚園課 学校教育課	【概要】 学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。			【評価の理由】 市立の幼稚園・保育所・小中学校すべてで実施し、対象者9,487人(3歳以上)保育所339人、幼稚園820人)、(小中学校8,328人)全員が参加し、健康に対する保持増進の意欲を高め、自らの健康管理に取り組むことができた。							

4 成人期・高齢期

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	成人歯科検診の受診者数 (人)						
1	成人歯科保健事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる楽しさを享受できるよう、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施 ・年度末年齢20・30・40・50・60・70歳の方に受診勧奨ハガキを送付	3・やや遅れている	指標(単位)	成人歯科検診の受診者数 (人)						受診者数の増加に向け、ホットメール等SNSの活用、図書館貸出票への案内掲載など周知を工夫・徹底する。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
目標	400	450	450	450	450							
実績	223	267	310									
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り成人歯科検診を実施する。			【評価の理由】 各種事業時や健康まつりにて周知に努めた結果、受診者数は増加したが、目標値に達しなかった。							
2	成人歯科保健事業	【目的】 高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるよう、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	1・達成済	指標(単位)	成人歯科検診受診者の平均機能歯数(20~64歳) (本)						定期的な検診受診を促し、自分の歯の本数を確保できるようつなげていく。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
目標	26	26	27	27	28							
実績	27.6	28.0	28									
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り実施する。			【評価の理由】 検診受診者数の平均機能歯数は、目標値に達した。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
3	成人歯科保健 事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる 楽しさを享受できるよう、歯の喪失 を予防するため、歯科疾患の早期発 見、早期治療による歯と口腔の健康 増進を図る。また、8020運動の普 及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	2 ・ 概 ね 順 調	指標(単位)	定期的に歯科検診を受ける人の割合（20～64歳）（％）	定期的な歯科検診受診の 重要性を周知し、受診率 の向上に努める。					
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	健康づくり推 進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定め た成人歯科検診マニュアルに則り実 施する。			実績	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
					【評価の理由】 概ね目標を達成することができた。							
4	成人歯科保健 事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる 楽しさを享受できるよう、歯の喪失 を予防するため、歯科疾患の早期発 見、早期治療による歯と口腔の健康 増進を図る。また、8020運動の普 及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	3 ・ やや 遅 れ て い る	指標(単位)	デンタルフロスや歯間ブラシを使用する人の割合 (20～64歳)（％）	デンタルフロスや、歯間 ブラシの必要性について 成人歯科検診時及び歯周 病予防講座、歯科相談時 等に引き続き啓発に努め ていく。					
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	健康づくり推 進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定め た成人歯科検診マニュアルに則り実 施する。			実績	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0		
					【評価の理由】 口腔内のプラーク除去には、デンタルフロスや歯間ブラシなど歯間清掃用 具の使用が必須であるが、使用する人の割合が目標に達することができな かった。							
5	成人歯科保健 事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる 楽しさを享受できるよう、歯の喪失 を予防するため、歯科疾患の早期発 見、早期治療による歯と口腔の健康 増進を図る。また、8020運動の普 及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	3 ・ やや 遅 れ て い る	指標(単位)	歯肉炎・歯周病を有する人の割合（20～64歳）（％）	歯周病等が全身の健康に 影響することから、定期 的な検診受診を促し、り 患率の減少につなげたい。					
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度 (目標年)			
	健康づくり推 進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定め た成人歯科検診マニュアルに則り実 施する。			実績	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0		
					【評価の理由】 歯肉炎・歯周病を有する人の割合は、10%以上減少したものの、依然と して高い状況である。							

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	成人歯科検診受診者の平均機能歯数(65歳以上) (本)						
6	成人歯科保健事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる楽しさを享受できるよう、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	2 概ね順調	指標(単位)	成人歯科検診受診者の平均機能歯数(65歳以上) (本)					定期的な検診受診を促し、機能歯数の確保に努めたい。	
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り実施する。			目標	25	25	25	25	25		
					実績	24.4	24.8	24.6				
					【評価の理由】 検診受診者の歯の本数は、目標に達している。							
7	成人歯科保健事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる楽しさを享受できるよう、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・8020お達者歯科健診の実施とその表彰	1 達成済	指標(単位)	8020お達者歯科健診表彰者の平均機能歯数 (本)					引き続き、老人クラブへのチラシの配布、SNSの活用など周知を工夫・徹底し、予防啓発に力を入れていく。	
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り実施する。			目標	25	25	25	25	25		
					実績	25.8	24.7	27.0				
					【評価の理由】8020お達者歯科健診表彰者の平均機能歯数は、目標に達している。							
8	成人歯科保健事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる楽しさを享受できるよう、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・成人歯科検診の実施	1 達成済	指標(単位)	歯肉炎・歯周病を有する人の割合(65歳以上) (%)					目標を達成しているものの、依然として患率は高いことから、デンタルフロスや、歯間ブラシ利用の啓発に努めていく。	
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り実施する。			目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0		
					実績	94.3	74.6	75.6				
					【評価の理由】 65歳以上の歯肉炎・歯周病を有する人の割合は、目標値を上回った。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の実施内容等	
					指標(単位)	歯周病予防講座受講者数 (人)						
9	生活習慣病予防事業	【目的】 高齢期における健康を維持し食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康増進を図る。また、8020運動の普及啓発を推進する。	・歯周病予防講座の実施	1・達成済	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標年)		生活習慣病の一つである歯周病を予防するため、歯科医師による講座を実施している。積極的な周知に努め、参加者の増加を目指す。
	目標	20			20	20	20	20				
	健康づくり推進課	【概要】 委託医療機関にて厚生労働省の定めた成人歯科検診マニュアルに則り実施する。			実績	15	12	31				
					【評価の理由】 周知に努めた結果、受講者数は増加した。							
10	健康相談事業	【目的】 市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。	・歯科相談の実施	1・達成済	指標(単位)	(土は病気の予防) おとなの歯科相談者数 (人)						引き続き周知に努め、利用を促進することで相談者の不安を解消し、健康の保持増進及び生活習慣病予防につなげる。また、健康相談と同時開催し、市民が相談しやすい環境を整備する。
	年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標年)				
	健康づくり推進課	【概要】 ①重点健康相談 高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定して実施する。 ②総合健康相談 健康全般、栄養、歯、血圧測定など総合的な相談について実施する。			目標	20	20	20	20	20		
					実績	13	16	20				
					【評価の理由】成人を対象とした歯科医師による歯科相談を年4回実施しており、目標値に達している。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の実施内容等
----	----------------	----------------	-------------	----	------------------	---------------------

5 障がい者・要介護者

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	平成30年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の実施内容等				
1	生活習慣病予防事業(再掲) 【従・再掲】 健康づくり推進課	【目的】 市民の病気を予防するため、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。 【概要】 生活習慣病予防に努め、心血管疾患を予防し、市民のQOL(生活の質)を守り、健康寿命の延伸を目指し、各種生活習慣病予防事業を実施する。	・実施先を調整したものの、実施には至らなかった。	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	保護者や介護者を対象とした研修実施回数 (回)				
					年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年)
					目標	8	8	8	8	8
					実績	2	1	0		
					【評価の理由】 例年介護家族の会にて実施していた。介護家族の会では、さまざまジャンルのことを行っていること、参加者がほぼ同じ方であることから、内容を変えても歯科という同一ジャンルを繰り返し実施することは難しく、新たな実施先を検討したが、実施には至らなかった。	実施には至らなかったが、各施設等で口腔ケアへの取組が始まっていることが分かった。成果・目標指標について「口腔ケアに取り組む介護・障がい者福祉施設の割合」等への変更を検討する。また、各施設のニーズをくみ取るため、各施設に出向いて話を聞く等を進めていく。				